

夜間定時制生徒募集 都立高6校が停止へ

相談体制など支援を充実

都教育委員会は22日、現在の中学2年生が受験する2026年度入試から、都立高6校の夜間定

時制課程で生徒募集を停止する方針を明らかにした。すでに廃止方針が決まっている小山台（品川区）のほか、新たに5校が対象となった。都教委は、不登校経験者らを受け入れるチャレンジスクールの定員を増やすなどして、受け皿を充実させるとしている。

ほかに対象となったのは、桜町（世田谷区）、大山（板橋区）、北豊島工科（同）、蔵前工科（台東区）、葛飾商業（葛飾区）。いずれも28年度末で廃止となる。立川の夜間定時制が27年度

末で廃止となるため、夜間定時制は34校に減る。都教委は22日にあった都教委定例会で、不登校やヤングケアラーなど、都立高の「困難を抱える生徒」の支援計画案を提示。深沢（世田谷区）を、柔軟な教育課程や相談体制の充実を図る「新たなタイプ」の学校に再編したり、チャレンジスクールの大江戸（江東区）、六本木（港区）で学級を増やしたりする。

支援計画案では、不登校生徒の調査書の扱いを含めた都立高入試のあり方も検討するとした。9月20日まで意見募集し、10月ごろ策定する。